

北陸地域における特徴的設備投資の状況について

需要拡大に対応するとともに、社員の一体感を高め、技術継承を旨とした新工場の建設

(株) 箔一

(本社) 石川県金沢市
(資本金) 58百万円 (従業員数) 80名
(業種) その他製造業

金沢箔の製造、販売及び金沢箔製品(工芸品・インテリア・食用金箔・化粧品)の開発、製造メーカー。「金沢箔」の販売網を全国に持ち、石川を代表する工芸品の魅力発信に貢献。

背景

- 北陸新幹線の開業やクルーズ船寄港の増加に伴い、訪日外国人を含めた観光客が増加し、当地の工芸品である「金沢箔」の需要が拡大。
- 金沢箔製造の工程の多くは熟練した技術が必要であり、伝統産業の継承と、従業員を大切にすることを社風の具現化のため、魅力ある職場環境の整備が不可欠。
- 工場新設に際し、多くの来訪者に「ものづくりの現場」を開放することで「金沢箔」の認知度の向上、異業種とのコラボレーション展開も計画。

取組

- 生産現場の「工芸工房」には、生産工程毎に最新設備の投入を行うとともに、作業動線に配慮し、生産ラインの効率化にも着手。風の影響を抑えた最新型の空調や床暖房も設置し、快適な職場作りに取り組み。
- 工場内をガラス張りとし「見える化」することで、生産工程間および生産・管理部門間のコミュニケーションの活性化を図った。
- 新工場では取引先や行政を中心に製造過程の見学の受入れを実施。

成果

- 最新設備の導入、工場の効率化により生産能力が飛躍的に向上。需要拡大への対応が可能となったほか、職場環境の改善も実現。
- 生産工程の見える化により、製造にかかる情報を共有することができ、問題発生時の対応が迅速となったほか、社員同士の一体感が高まり、伝統産業継承へのモチベーションも向上。
- 製造工程の見学受入れにより、多くの取引先等が来訪。海外を含め、事業コラボレーションの申出も増加、オーストリアのワイングラスの名門「リーデル」の和モダンワイングラス等新製品の開発に繋がっている。



需要増加に伴う増産対応等を背景として同社では新工場を建設、技術者育成としての環境整備や、快適に働ける環境整備にも配慮。



工場内では製造部門と管理部門間をガラス張りにし「見える化」に注力。社員間のコミュニケーションの活性化を図ることで、一体感も醸成。



金沢箔製品はインテリア建材からソファクッションなどの食用まで様々な製品が製造されている。



全社員が集まり、コミュニケーションをとりつつ、楽しく快適に働けるように「集いの場」を設置するとともに、社内イベントも開催できる屋上テラスや女性が使いやすいパワータールームも設置。

今後の展開等

- 周辺に存在する既存工場も併せて改装し全事業を強化する予定。工場エリア一帯が「金沢箔の開かれた文化創造基地」となることを目指すとともに、伝統産業に携わる人を対象とした研修施設としての活用も検討。

北陸地域における土地の活用状況の具体例について

空き家を活用した福祉事業で過疎地域を活性化

(福) 佛子園

(本 社) 石川県白山市
(資本金) 34.7百万円
(従業員数) 750名
(業 種) 社会福祉事業 (障害・高齢者・保育・医療の各施設の運営)

障がい者に特化した福祉サービスのほか、遊休施設を活用し、高齢者等の福祉拠点に再生する地域づくりや街づくりの事業展開。現在、石川県内を中心に地域のコミュニティ施設を運営。

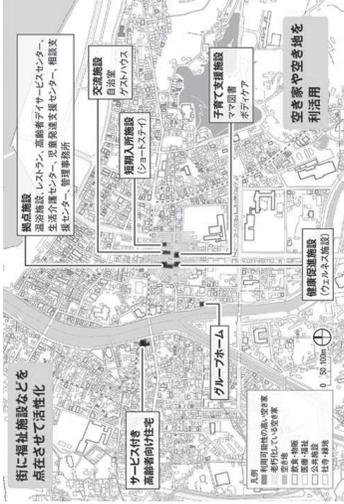
背景

- 石川県輪島市の人口は、少子化や主要産業である輪島塗の生産額低迷等を背景に減少の一途にあり、高齢化も進行。
- 人口減少に加え、能登半島地震をきっかけに市の中心部では多くの空き家や空き地が発生し、空洞化が深刻化。
- 都市機能の回復や市街地活性化を目的として、輪島市が福祉施設を中心としたまちづくりのノウハウを持つ (福) 佛子園及び青年海外協力協会に生涯活躍のまちづくりを依頼し、同園を運営母体とした複合型共生施設「輪島KABULET (カブレット)」が設立。

取組

- 市の中心部に点在する空き家をリノベーションし、年齢や障がいの有無に関係なく、様々な施設で多様な人が共生できる地域を「こちまげエリア」を以下のおり構築。
- ① 同園の運営拠点施設である「B's WAJIMA」には近隣住民が無料で利用できる温泉や食事処も設けられており、地域住民のコミュニケーションの場となっている。
- ② スポーツジムも整備。施設内では子供や障がい者を利用者として受け入れ、専門トレーナーが適切な指導を行う。
- ③ 子育て支援施設として、親子で調理、飲食できるほか、絵本等を備え置き子育て層を中心とした交流の場となる体験型カフェも整備。
- ④ このほか、障がい者向け短期入所住宅やグループホーム、サービス付き高齢者向け住宅も整備。

多くのマスメディアに取り上げられ、地方都市の再生モデルとして全国的にも注目。



【街内】五井建築研究所
市街に存在していた空き家を古くからの輪島市の街並みに馴染んだデザインとしてリノベーション。これら施設が市街地に整備されることで観光地としての魅力も向上。



拠点施設にある温泉では、近隣住民が無料で利用できることもあり、地域のコミュニケーションの場となっている。



カフェ「KABULET」では子育て層をメインに利用されている。

成果等

- 地域住民や障がい者等の施設利用者だけでなく、食事処や温泉を観光資源としても活用し、市内外からの人を呼び込むことで利用者はオープン以来、増加傾向が続いている。
- いずれの施設も障がい者が働く就労支援施設としての場になっており、それをサポートする地元住民等の雇用機会も創出され、福祉事業の充実と地方創生を表現。